

鳥羽市一斉津波避難訓練にご参加、ご協力ありがとうございました。

10月23日に実施しました一斉津波避難訓練は、各地域のみなさんおよび関係機関のご協力により、5,389人のかたに参加していただき、無事に訓練を終了することができました。地区別の参加者数は、下記のとおりです。

参加者数一覧 総参加者数:5,389人

地区名	参加者数	地区名	参加者数	地区名	参加者数
鳥羽地区	1,276人	大明東町 大明西町 安楽島地区	982人	加茂地区	958人
長岡地区	567人	鏡浦地区	330人	離島地区	1,276人

今回の訓練では「避難完了までにかかる時間」に焦点を当てて取り組みました。

これからも、住民のみなさんに防災意識を持ち続けていただき、日ごろから「防災」に取り組んでいただくために訓練を継続していきますので、今後ともご理解、ご協力をお願いします。

総務課防災危機管理室

☎ 25 1118

一人一人が備えてこ！
防災力UP！鳥羽

vol.18



安楽島町ヘリコプターへのSOS伝達訓練



弘道小学校津波避難訓練



桃取町炊き出し訓練

消費者トラブルにご用心! vol.14

消費生活相談

開催日時：月・水・金
午前9時～午後4時

場所：市民文化会館3階

農水商工課商工労政係 ☎ 25 1156
鳥羽市消費生活相談室 ☎ 25 1241

家族や周囲の「見守り」と「気づき」が大切

— 認知症等高齢者の消費者トラブルが過去最高に —

高齢者の消費者トラブルが年々増加しています。特に認知症などにより判断能力が不十分な状態となっているかたについては、平成25年度に全国で1万件を超え、過去最大となりました。市内においても、家庭に不審な海産物や健康食品が多数届いているなどの相談が寄せられています。

これらは電話勧誘を受けた高齢者のかたが、業者に言われるまま、必要もないのに口頭で注文してしまった可能性がります。

高齢者を狙ったトラブルを防ぐポイントは、家族や近所のかたによる「見守り」と「気づき」です。地域で協力して被害の未然防止に努めましょう。

「見守り」と「気づき」のポイント

【住まいの様子】
・不審な契約書、請求書などの書面や、宅配業者の不在通知などはないか。
・不審な商品はないか。同じようなものが大量にないか。
・屋根や外壁、電話器周辺などに不審な工事の形跡がないか。

・通信販売のカタログやダイレクトメールなどが大量にないか。
・不審な業者が入りしている形跡はないか。
・預金通帳などに不審な出金はないか。

【高齢者本人の言動や態度】
・不審な電話のやり取りや、電話口で困っている様子はないか。
・生活費が不足するなど、お金に困っている様子はないか。

●困ったときは、消費生活相談室に相談してください。

●困ったときは、消費生活相談室に相談してください。

